

人口の動き

1月末現在	
人口	6,870 (+6)
男	3,343 (-1)
女	3,527 (+7)
世帯数	1,550 (0)
()内は前月比	



No.44 3月号

発行人 川口町公民館長 清
 保科
 編集人 広井幸雄

『川口町青年団かわら版』

川口町青年団

例年になく厳しい寒雪のため冬にはいつて活動があまりにぎみになっています。しかし自分たちの住んでいる川口町という地域に青年の手で何かをしたい、何か身近にできることがあるのではないかと、という気持ちは若い人だけでなく、だれもが持つ純粋な気持ちはないでしようか。



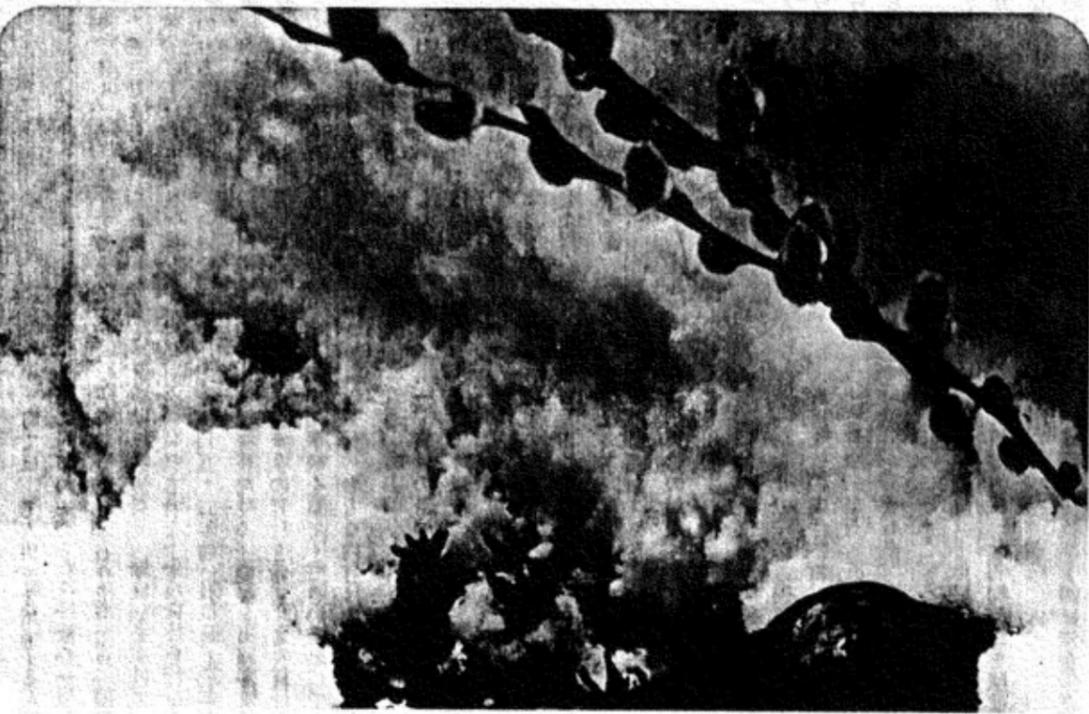
そんな中から私たち青年団は、奉仕活動という一つを取り上げてみました。そして一月三十日に町内の三軒の一人暮らしのお年寄りの家庭を三グループに分かれて訪問し、屋根の雪おろしや家のまわりの雪のけをししたり、中にはいつてお茶を飲みながら世間話しや、一人暮らしの実態はどうなのかといった話を聞いてきました。

季節の話題 彼岸

何も知らない私たちが急に行つて迷惑ではないだろうかと思つていたのとは逆に、行つてよかつたんだ、また機会があつたら訪問したいという気持ちはなれたことは、とても意義があつたと思つています。

また二月五日六日と群馬県の名湖までスケートに行つてきました。青年団と川口YTMの共催という事で総勢五十名近くで行きました。楽しい一泊二日を過ごすことができたという事は、良き青春のページになるだろうと思つています。

青年団もこれから四月の総会に向けて団員を現在の八十名から、百名まで伸ばそうという事で、一人一人よびかけをしていきたいと思つていますが、今の川口町青年団の組織はすべて個人加入を原則としています。ですから自分の村に組織のない人でも気軽にはいれるのです。自分ひとりの青年団にはいつて、より多くの若者と交流することにより何かを得て、二度とこない青春を少しでも有意義に楽しく過ごそうと思つて人は大いに歓迎します。青年団はいつていどういものかと疑問を抱いている人も多いでしょうが、いつてみればきっと青年団に加入して良かったということになるでしょう。



「暮れも彼岸まで」というように、三月も二十一日ごろになると気温も上がり、もう、冬に逆もどりのことも少なくなりました。現在の春分の日は「自然をたたえ、生物をいつくしむ日」という意義をもつております。

この日は、太陽が朝、地平線を出てから夕方地平線に入るまでの時間と、夜の時間が同じになることは知られておりました。この日を境にして後は日中の時間がだんだん長くなり春に向かうわけです。

仏教では、昼夜の長さが同じになることが、仏教で尊ぶ「中道」に当たるのでこの日を彼岸の中道として祖先の霊を慰める法要を営みます。

この行事の始まりは、桓武天皇が延暦二十五年に崇神天皇追善のために全国の国分寺に命じて、春秋二回七日間づつ金剛ハラミツタ教を読経させたのが国民の祖先供養の日となつたと伝えられております。

仏教の国インド、中国にもない日本独自の行事ではありますが、一家そろつてお墓に出かけ、先祖にお参りすることは、他国では見られないわい行事といえましょう。

春まじか

春がそこまで やつてきた
 ふきのとうが 蕾をもたげ
 ねこやなぎがふつくら ふくらんだ
 ときにはふぶく 雪の中
 木の芽もちよつぱり ふくらんだ
 雪わり草が 春はどこかと
 ちっちゃな力で せいっぱい
 雪の下でがんばる がんばる
 ことりたちが さえずった
 早くこいよと 春を呼ぶ
 やがて山には まんさくが
 野にはすみれや たんぽぽが
 小川にやどじょうが 顔をだす
 みんな待つてる 春がくる
 ポカポカ楽しい 春がくる

昭和52年交通安全年間スローガン

運転者向けのもの 「赤信号 老人 子供 白い杖」
 歩行者向けのもの 「話合う 家族で 事故のない 世界」
 こども向けのもの 「信号が 青でもよく見てわたくらうね」

表紙の写真について

昨年の暮れから現在に至るまで私たち町民をいやというほど痛めつけてきた異常な寒雪で、心身ともにお疲れのことと存じます。ここで待つ心の中は、どなたも春の訪れでしょう。春は、そこまでやってきました。小鳥たちの動きも何となくにぎやかになってきました。そんな気持ちを、一つの情報としてとらえたものです。

雪掘りのボランティア活動

今年の冬は低温の日が多く、降雪も多いようです。一月三十日、凍りつくような寒い日に町青年団の有志諸君が一人暮らしのおとしより家庭の雪掘り奉仕という心暖かいプレゼントがありました。



このボランティア活動は町青年団が「社会に役立ち、町民のみならず」に喜んでもらおうと計画されたものです。

一行は三班に分かれ、各々、スコップやカンジキ、鉢植えの花など持って一人暮らしのおとしよりを訪問、お茶を飲みながらおとしよりと語り合ったり、雪



掘りをしたり、互いに楽しい一日を過ごしました。中には民謡など歌ってあげたりして、楽しい一面もありました。年代を越えて語り合う若者とおとしより間には、互いに通じ合うものが感ぜられ、互いに尊敬と感謝の念を深くしたようです。若者は汗を流しながら、疲れを忘れて語り合いました。物だけの福祉ではなく、精神面での福祉、思いやりの気持の大切なることを青年団のボランティア活動は教えてくれました。

老人居室整備資金

町では、老人福祉を増進するための対策の一つとして、昭和四十八年度から「国民年金積立金環元融資」をうけて、老人居室整備資金の貸付を行なってきました。

昭和五十二年度においても貸付事業を実施する予定でありますから、資金の貸付を希望する人は、申請手続をしてください。貸付のおもな内容は次のとおりです。

- 一、貸付の目的
 - 六十才以上の親族である高齢者と同居する世帯で、高齢者の専用居室の整備を希望する者のうちで資金困難な者に貸付をして、高齢者と家族との間の好ましい家族関係の維持をはかる。
- 二、貸付の対象
 - 専用居室の増築又は改築
- 三、貸付の限度額
 - 一戸当り七十二万円
- 四、貸付の条件
 - (一)利率 年七・五%以内(このうち果、町の利子補給がある)
 - (二)償還期限 十年以内
 - (三)償還方法 元利均等半年賦償還
 - (四)延滞金 延滞金額につき年十%
- (五)保証人 川口町に住所を有する者二人

シリーズ⑦ 私たちの生活と税金について

申告はお早めに……
納税は三月十五日までに

昭和五十一年分の所得税の確定申告と納税は二月十六日から三月十五日までです。期限間近になりますと、税務所の窓口が大変混雑し、長い間お待ちしていただくようなことにもなりますので、できるだけ早い時期にすませてください。所得税の確定申告書を税務署へ提出した方は、住民税や事業税の申告書は提出しなくてもよいことになっています。

善意の人

〈町社会福祉協議会へ〉
わたさき老人用おしめ 保健衛生推進員の皆さん
西川口婦人会の皆さん
田山農協婦人部皆さん

新春囲碁大会の結果

一月二十三日、福祉センターにて囲碁将棋同好会の主催により新春囲碁将棋大会が行なわれました。結果は次のとおりです。

- 将棋の部
- 総合優勝 喜多村喜平
 - 準優勝 石田 博
 - 敢闘賞 松組 目黒 幸夫
 - 梅組 井浦 勤
 - 松組 一位 喜多村喜平
 - 二位 西脇 圭三
 - 三位 堀沢 哲男
 - 竹組 一位 星野 登吉

国民年金について

お知らせ

あなたの老後をより豊かに…
国民年金の付加保険料を納めましょう

付加保険料とは、もう少し多く保険料を納めてよいから、より高い年金を受けたい、という要望に応じて設けられたもので、この制度に加入しますと、定額保険料(一カ月一、四〇〇円、四月から二、二〇〇円)のほかに、一カ月四〇〇円を足して納めることとなります。そして納めた期間に応じた定額年金に加算した年金が受けられます。

たとえば、定額保険料を二五年納めた場合、老齢年金額は三九万円ですが、付加保険料を納めた場

交通事故の相談

「遠慮なくどうぞ」

専門の相談員が親身になってご相談に応じます。平日は午前九時から午後四時前まで(土曜日は午前、弁護士相談日は毎週水曜午後一時～午後四時)
社団法人日本損害保険協会
自動車保険請求相談センター
新潟市東大通一―二一三〇
住友生命新潟ビル九階
自動車保険料率算定会新潟駅前調査事務所内
☎ 〇二五二―四三―二二二
☎ 〇二五二―四三―〇八二
相談無料 (企画課)

昭和五十一年度分所得税

確定申告について

- 一所得控除と控除の留意点
 - (一)基礎控除 二六万円
 - (二)配偶者控除 二六万円
 - (三)扶養控除 二六万円
 - 一般の扶養控除
 - 一人につき 二六万円
 - 老人扶養控除 一人につき 三三万円
 - 障害者控除 一人につき 二〇万円
 - 特別の障害者 一人につき 二八万円
 - 老人者控除 二〇万円
 - 障害者控除 二〇万円
 - (四)勤労学生控除 二〇万円
 - (五)諸控除のうち(四)(五)は申告する人自身が該当する場合です。
 - なお老齢者控除は所得が一千万円以下の人です。
- 二給与所得者は次の場合確定申告が必要
 - (一)給与収入が年間一千万円を超える人
 - (二)二ヶ所以上からの給与のある人で一定額以上となる人
 - (三)給与退職以外の所得が二〇万円を超える人
 - 同族会社の役員等でその会社からの給与のほかに貸付金利、貸付料などの支払を受けてい

あなたに注意

みんなが心配していたとおり、大変な豪雪になりました。いままでは、雪が止まずに降り続いたため表層なだけ方々で発生していましたが、これからは少しづつ気温も上がり、雪がしめつてきます。そこで懸念されるのが、雪崩なだれです。山肌をむきだしにして、土や石、岩のかけらまでまきあげて落ちてくるもの、こさは言葉にあらわせないほどです。このようななだれは主に山地に起きますが、そのような場所には特に注意して恐ろしいなだれから身を守りましょう。

所得金額から控除されます。この控除を受ける場合は医師などの領収書を確認申告書に添付するか又は提示して下さい。〈小千谷税務署〉